

医師確認日 年 月 日
 確認医師氏名
 (署名または記名押印)

提出者

性別 男 女

年 月 日

EDTA使用 1)有 2)無

検査目的

骨髓像

項目	結果	単位	染色法
標本の評価	良好・不良(理由:)		

細胞密度	無形成	低形成	正形成	過形成	普通染色
有核細胞数			$\times 10^9/L$		ライト・キムザ / ライト / キムザ
巨核球数			$\times 10^6/L$		メイ・グリエンワルト・キムザ

骨髓像	結果	單位	特殊染色
-----	----	----	------

		芽球		%	ヘルオキシダーゼ染色(所見)
顆粒球系	好中球系	骨髓芽球		%	芽球陽性率 %
		前骨髓球		%	
		骨髓球		%	
		後骨髓球		%	エステラーゼ染色(所見)
		桿状核球		%	非特異的: 芽球陽性率 %
		分葉核球		%	NaF 阻害: あり・なし
	好酸球系	骨髓球		%	特異的: 芽球陽性率 %
		後骨髓球		%	
		桿状核球		%	
		分葉核球		%	鉄染色
好塩基球			%	環状鉄芽球 (%)	
	分裂像(顆粒球系)			鉄芽球 (%)	

単球系	単芽球	%	
	前単球	%	
	単球	%	その他の染色(PAS染色など)

	マクロファージ		%	
リンパ球系	リンパ芽球		%	
	リンパ球		%	

	形質細胞		%	
	前赤芽球		%	
	好塩基性赤芽球		%	

赤芽球系	多染性赤芽球		%	
	正染性赤芽球		%	
	分裂像(赤芽球系)			

	M(顆粒球系):E(赤芽球系)比			
	肥満細胞		%	
	その他		%	

	カウント数			
--	-------	--	--	--

細胞所見（末梢血および骨髄形態所見を簡潔に記載する）

[illegible][illegible]

--

考察:免疫表現型(細胞表面マーカー)、染色体検査などを踏まえた病態の考え方、根拠

血液学的診断(医師記載の診断名)

骨髓検査所見用紙

症例No. _____

提出者_____

記入方法:該当する所見を○で囲んでください。囲み用○   には所見を記入してください。

標本觀察所見

1. 標本の評価	良好	不良（理由：		
2. 細胞密度	無形成	低形成	正形成	過形成
3. 脂肪滴	減少	正常	増加	
4. 骨髓巨核球	著減	減少	正常	増加
5. M / E 比	低	正	高	

6. 各細胞系統について

1) 顆粒球系

(1)	分布密度	減少	正常	増加			
(2)	成熟分化	正常	異常				
(3)	芽球細胞	正常	増加				
(4)	形態異常	(あり ・ なし)			過分葉好中球 (- +)	脱顆粒 (- +)	デーレ小体 (- +)
		ヘルゲル核異常・低分葉好中球 (- +)			小型好中球 (- +)	巨大好中球 (- +)	
		輪状核好中球 (- +)			二核骨髓球 (- +)	中毒性顆粒 (- +)	空胞化 (- +)
(5)	異形成の合計	1+	10%未満	2+	10~50%未満	3+	50%以上
	ヘルゲル核異常	1+	10%未満	2+	10~50%未満	3+	50%以上
	脱顆粒	1+	10%未満	2+	10~50%未満	3+	50%以上

(6) その他・特記事項

2) 赤芽球系

(1) 分布密度	減少	正常	増加			
(2) 形態異常	あり	なし		巨赤芽球(様)変化	(- +)	
	多核赤芽球	(- +)	核辺縁不整	(- +)	核融解像	(- +)
	核間架橋	(- +)	細胞質の狭小化	(- +)	空胞化	(- +)
(3) 異形成の合計	1+	10%未満	2+	10~50%未満	3+	50%以上

(4) その他・特記事項

3) 巨核球·血小板系

(1) 巨核球形態	(あり ・ なし)			微小巨核球	(- +)
	小型巨核球			単核巨核球	(- +)
	分離多核巨核球			幼若巨核球	(- +)
(2) 血小板産生像	減少	正常	増加		
(3) 異形成の合計	1+	10%未満	2+	10～50%未満	3+ 50%以上
微小巨核球	1+	10%未満	2+	10～50%未満	3+ 50%以上

(4) その他・特記事項

4) リンパ球系・その他

(所見自由記載)

7. 異常細胞の出現あり

1) 形態的特徵

(1) 細胞の大きさ	小	中	大	(正常小リンパ球を小、好中球を中とする)
(2) N/C比	<60%	60~80%	>80%	
(3) 核の形状(不整、切れ込みなどの有無を記載する)				
(4) クロマチンの性状	網状繊細	顆粒状	粗剛	塊状
(5) 核小体	不明瞭	明瞭	(明瞭の場合、特記すべき事あれば記載する)	
(6) 細胞質	1) 好塩基性 強い 弱い 2) 顆粒(顆粒の大きさ、色調、大体の個数を記載) 3) 細胞質辺縁 不整 不明瞭 偽足様突起 4) その他の構造			

(7) その他(集簇性の有無など)

8. 細胞所見・考察(細胞所見のまとめ、診断根拠となる他の検査所見、考えられる疾患名、追加すべき検査と期待される結果など)